

令和8年度 第2回
大阪府・大阪市経済動向報告会

『開業の促進・抑制要因となる思考・行動 特性と大阪府民の特徴に関する予備的考察』

2026年8月20日



大阪産業経済リサーチセンター長
(関西学院大学教授・産業研究所長)
小林 伸生

はじめに～謝辞～

本研究報告は、2020年度より続けている、
(株)野村総合研究所のアンケート調査結果の
ご提供、および同社未来創発センター未来社会・
経済研究室長 森健氏とのディスカッションに
基づいている。

同社、およびディスカッションを通じ、貴重な
コメント・示唆を頂いている森氏に対し、心から
感謝申し上げます。

そもそもの問題意識～なぜ地域によって開業率が異なるのか～

【日本の課題】

- 日本の開業率は長期的に低水準
 - 創業促進は重要政策課題
- ※しかし国内においても、創業活動の活性度の地域差は依然大

【本研究の問い】

地域住民の特徴は開業率に関係しているのか

従来研究の到達点と、本研究の視点

【従来研究の主眼】

開業率を説明する外部要因分析

(分析対象例)

- ・ 人口規模
- ・ 所得水準
- ・ 産業構造・集積
- ・ 大学・研究機関
- ・ 金融環境
- ・ 交通アクセス

【本研究の視点】

「人」に着目

(本研究の分析対象)

各都道府県の住民の

- ・ 価値観
- ・ 幸福感
- ・ 人間関係
- ・ デジタル能力
- ・ 働き方

等に着目

使用データ



開業率：令和3年経済センサス

住民特性：(株)野村総合研究所
『日常生活に関するアンケート』

【アンケート概要】

- ・ 実施時期：2023年7月
- ・ 対象：全国9,400人（各都道府県200人） 15歳～69歳

※極力各地域の母集団となる人口に近い構成を意識してサンプリング

本研究で用いた分析方法：主成分分析

■ アンケートの多数の設問⇒少数の特徴軸へ集約

抽出された3因子

主成分	因子の概要
第1主成分	生活満足＋デジタル親和性
第2主成分	職場DX＋先端サービス
第3主成分	実務型デジタル能力

大阪府民の特徴①：幸福度は比較的高い

生活満足度・幸福実感度の比較

		最近の自分の 生活への満足度	日常の幸福 の実感度
全国		5.64	5.91
東京都	得点	5.9	6.03
	順位	7	15
大阪府	得点	5.81	6.02
	順位	11	16
(参考) 愛知県	得点	6.28	6.45
	順位	1	1

注) 得点は、それぞれの設問について「非常に不満」「非常に不幸」：1点～「非常に満足」「非常に幸福」：10点までの10段階で評価した、回答の平均点。

出所) (株)野村総合研究所(2023)『日常生活に関するアンケート調査』より作成

大阪府民の特徴②：人間関係資本が豊か

対人関係に対する信頼感

		だいたい信用できる	用心するにこしたことはない	わからない	平均点
全国（割合）		19.8	66.3	14	1.73
東京都	割合	12	70	18	1.79
	順位				47
大阪府	割合	24.5	63	12.5	1.69
	順位				6

注）計算方法：「だいたい信用できる」：1点、「用心するにこしたことはない」：2点、「わからない」：1.5点として、平均点を算出。従って、平均点が低いほうが、対人関係への信頼度が高いと評価できる。

出所）（株）野村総合研究所(2023)『日常生活に関するアンケート調査』より作成

大阪府民の特徴②：人間関係資本が豊か

最近の自分の人間関係に対する満足度

		満足度 (10段階評価の平均点)
全国		5.19
東京都	得点	5.28
	順位	17
大阪府	得点	5.46
	順位	3

出所) (株)野村総合研究所(2023)『日常生活に関するアンケート調査』より作成

大阪府民の特徴③：ITスキルが情報発信型

「パソコンやモバイル端末を利用して行うことができること」
という設問に対して回答割合が高かった項目

大阪府～情報発信型スキル～

項 目	全国順位
「IllustratorやPhotoshop」などのソフトを使い、イラストを書いたり編集したりする」	1位
「自分で動画を撮影・編集しYouTube等にアップする」	2位
「Webサイトを作成する」	3位

東京都～高度実務型スキル～

項 目	全国順位
「ドローンを操縦する」	1位
「サーバー、OS、ネットワーク等のメンテナンスをする」	3位
「プログラミングにより何らかの処理を自動化したアプリケーションを作る」	4位

出所) (株)野村総合研究所(2023)『日常生活に関するアンケート調査』より作成

大阪府民の特徴④：D X環境は首都圏より弱い

テレワークの実施状況

	全国	東京都		神奈川県		大阪府		兵庫県	
		割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
テレワーク対象者ではない	81.1	55.9	47	59.4	46	71.4	43	75.9	37
テレワーク対象である (過去1カ月以上未実施)	8.6	16.1	2	10.5	10	9.8	13	12.4	5
テレワーク部分的実施 (週1日以下)	4.0	9.8	2	11.3	1	8.3	4	5.8	9
テレワーク本格実施 (週2日～4日以下)	2.8	11.2	2	12.8	1	6.0	5	5.1	9
基本的にテレワーク勤務 (週5日以上)	3.4	7.0	5	6.0	8	4.5	11	0.7	45

出所) (株)野村総合研究所(2023)『日常生活に関するアンケート調査』より作成

大阪府民の特徴④：DX環境は首都圏より弱い

テレワークの実施状況

	全国	東京都		神奈川県		大阪府		兵庫県	
	得点	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位
チャットツール（s l a c k など）	1.13	1.27	1	1.24	2	1.23	3	1.08	40
オンライン会議ツール（Z o o m など）	1.15	1.26	1	1.25	2	1.19	10	1.10	41
デジタルファイル共有・管理ツール	1.25	1.38	1	1.36	2	1.26	20	1.32	8
オンラインの顧客管理ツール	1.15	1.23	3	1.24	1	1.17	16	1.16	19
従業員間のスケジュール管理ツール	1.23	1.34	1	1.30	4	1.22	30	1.29	6
事務業務（定型）の自動化ツール（R P A）	1.11	1.21	2	1.21	1	1.15	8	1.08	36
ペーパーレスの契約締結ツール （DocuSignなど）	1.09	1.17	3	1.16	4	1.12	11	1.10	21
PCなど自分の情報端末の使用状況の モニタリングツール	1.11	1.20	1	1.19	2	1.09	37	1.11	26
自分の移動履歴を記録するツール	1.06	1.15	1	1.11	3	1.07	14	1.04	35
C h a t G P T などの文章・画像生成 A I	1.03	1.08	3	1.05	10	1.06	7	1.03	22

注）得点は、選択肢の「コロナ禍以前から導入されていた」：2点、「コロナ禍後に導入された」：1点、「導入されていない」：0点として、平均点を算出している。

大阪府民の特徴④：DX環境は首都圏より弱い

今後のテレワークに対する意向

	全国	東京都	神奈川県	大阪府	兵庫県
平均点	2.36	2.43	2.60	2.31	2.19
順位		10	1	32	40

注) 平均点の算出方法

緊急時だけでなく平常時でも、テレワークをしたい：3点

緊急時限定であれば、テレワークをしたい：2点

どのような時でも、テレワークをしたくない：1点

として、回答者割合から平均点を算出

主成分分析

主成分	内 容
第1主成分	生活満足＋デジタル親和性
第2主成分	職場DX＋先端サービス
第3主成分	実務的デジタル能力

第1主成分上位15項目～日常デジタル活用・生活満足度因子～

設問内容	相関係数
自分の「安心・安全」への満足度	0.759
仕事において生成AIを活用することのプラス面：特にプラス面を感じない	0.758
パソコンやモバイル端末を用いて、インターネットを利用して行っていること（MA）：メールの送受信	0.739
日常の「笑い」の実感	0.729
消費生活に対する考え方・行動（MA）：価格が品質に見合っているかどうかをよく検討してから買う	0.721
SNSの利用頻度：Instagram	0.715
自分の「人間関係」への満足度	0.715
自分の「オンラインでの活動」への満足度	0.708
自分の「したいことをできる時間の長さ」への満足度	0.701
日常の「喜び」の実感	0.697
日常の「穏やかさ」の実感	0.683
パソコンやモバイル端末を用いて、インターネットを利用して行っていること（MA）：インターネットで健康情報を探る	0.672
日常の幸福の実感度	0.665
サービス/アプリ/テクノロジーの利用経験・利用意向：オンライン会議サービス	0.651
インターネットの普及・進化が、自分の生活や社会に及ぼす影響（MA）生活に利便性・快適さをもたらす	0.647

第2主成分上位15項目～職場DX・先端サービス利用因子～

設問内容	相関係数
デジタルツールの職場における導入状況／事務業務（定型）の自動化ツール（RPA）	0.803
SNSの利用頻度／LinkedIn	0.796
デジタルツールの職場における導入状況／自分の移動履歴を記録するツール	0.748
デジタルツールの職場における導入状況／ペーパーレスの契約締結ツール（DocuSignなど）	0.732
デジタルツールの職場における導入状況／ChatGPTなどの文章・画像生成AI	0.689
サービス/アプリ/テクノロジーの利用経験・利用意向（文章・画像生成AI）	0.687
サービス/アプリ/テクノロジーの利用経験・利用意向（民泊サービス）	0.683
導入されているデジタルツールの利用頻度／オンライン会議ツール（Zoomなど）	0.682
SNSの利用頻度／Pinterest	0.651
サービス/アプリ/テクノロジーの利用経験・利用意向（クラウドソーシング）	0.637
テレワークの実施状況(4)テレワーク本格実施（週2日～4日以下）	0.636
消費生活に対する考え方・行動（MA）あてはまるものはない	0.631
サービス/アプリ/テクノロジーの利用経験・利用意向（仮想通貨の売買）	0.618
職場に対する考え方／この6カ月のうちに、職場の誰かが自分の進歩について話してくれた	0.609

主成分分析

第3主成分上位15項目～実務的デジタル能力～

設問内容	相関係数
インターネットを利用して行っていること/株式・FXなどのオンライントレード	0.565
テレワークの実施状況(4)テレワーク本格実施（週2日～4日以下）	0.545
導入されているデジタルツールの利用頻度／オンライン会議ツール（Zoomなど）	0.536
パソコンやモバイル端末を利用して、行うことができること/PowerPoint等のソフトを利用して、発表するためのスライドや資料を作成する	0.492
家庭・学校・職場などのパソコンを利用した、インターネットの使用頻度（7段階）	0.468
インターネットを利用して行っていること/銀行口座の残高照会・ネットバンキング	0.458
所有している情報端末/ノート型パソコン	0.451
自分の「生活水準」への満足度	0.450
パソコンやモバイル端末を利用して、行うことができること/IllustratorやPhotoshop等のソフトを使い、イラストを描いたり編集したりする	0.448
デジタルツールの職場における導入状況／デジタルファイル共有・管理ツール	0.434
インターネットを利用して行っていること/病院の予約をインターネット上で行う	0.395
テレワークの実施状況(3)テレワーク部分的実施（週1日以下）	0.393
デジタルツールの職場における導入状況／従業員間のスケジュール管理ツール	0.387
テレワークの実施状況(5)基本的にテレワーク勤務（週5日以上）	0.386
デジタルツールの職場における導入状況／オンラインの顧客管理ツール	0.369

結果の解釈

～どのような性質の人が多い地域で開業率が高いか～

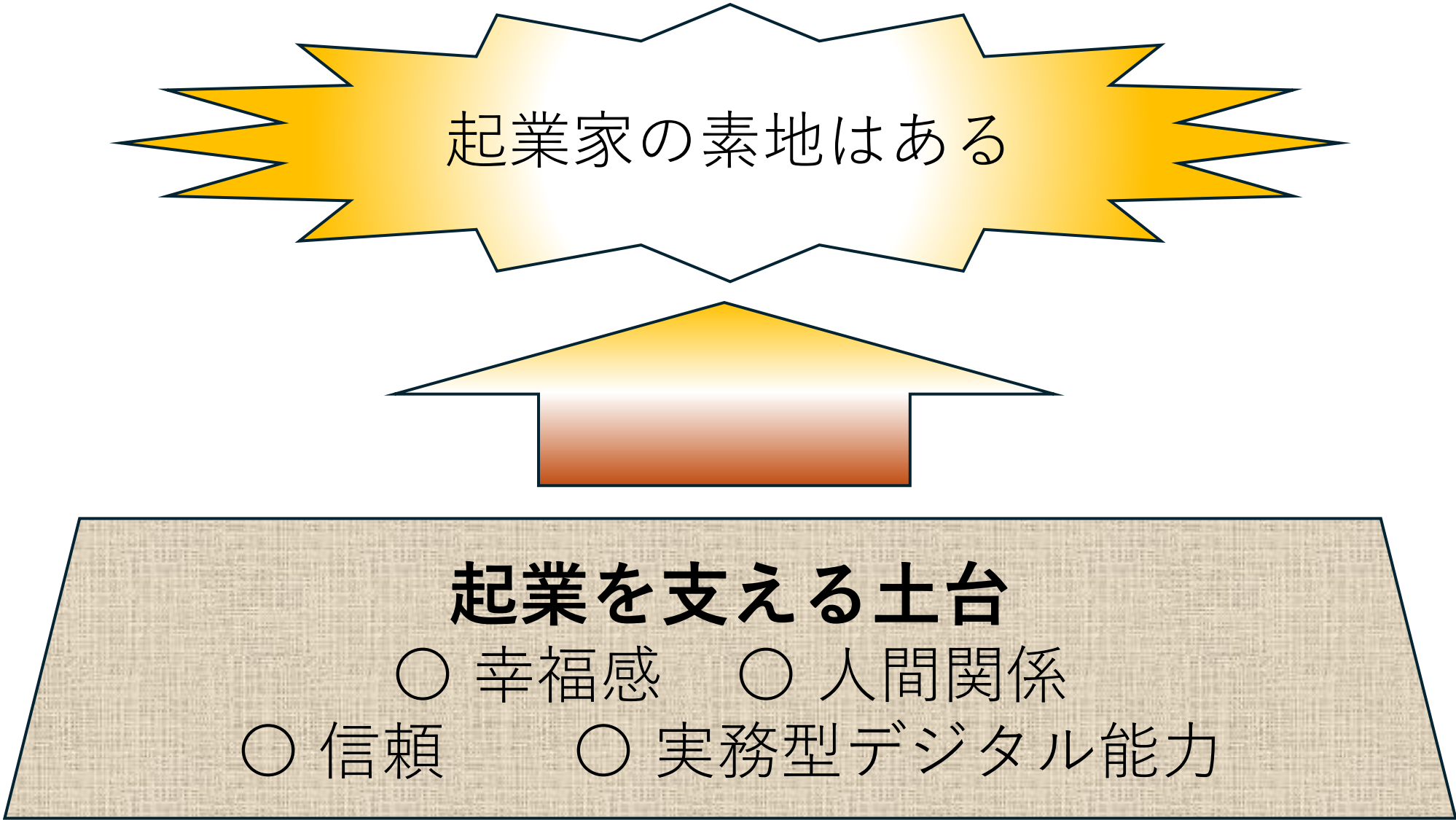
起業する人が多い地域
＝ 特殊な能力・知識・性格を有する人が
多い地域・・・ではない。



主成分分析から
見えてくる姿

- 生活に対する満足度が高く、前向き
- 新しいIT技術・ノウハウが職場に導入されている
- ITリテラシーが高い人が多い

結果の解釈～大阪府の強み～



起業家の素地はある

起業を支える土台

- 幸福感
- 人間関係
- 信頼
- 実務型デジタル能力

結果の解釈～大阪府の課題～

起業を生み出す環境

- △ DX環境
- △ 先端サービス
- △ 新技術との接触
- △ 起業機会の認識



機会生成
環境の
不足

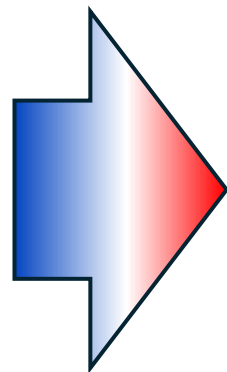
大阪府で 不十分な要素

DX環境

先端的サービス

新技術との接触

起業機会の認識



改善に資すると 思われる要素

- ・ DX人材との交流
- ・ 実証実験の場
- ・ 新技術への接触機会の創出
- ・ ロールモデルの顕在化

暫定的結論

- ① 開業率は住民特性とも関連する。
そして、大阪府民には起業家の素地が存在する。
- ② デジタル能力は重要。
特にDX環境と先端サービスへの接触が重要
- ③ 課題は能力不足ではなく「機会との接点」

ご清聴ありがとうございました。